

インフォメーション

- 小平のこと 言いたい、聞きたい
～議員といっしょに話す会～
テーマ：児童館の指定管理について
2013年2月15日(金)10:30～12:00
小平市中央公民館
主催：会派生活者ネットワーク
- 小平で市民ソーラー発電所をつくろう！
～こだいらソーラー設立フォーラム～
2013年2月23日(土)13:30～17:00
小平市中央公民館 2Fホール
・パネルディスカッション
・基調講演 田中優さん
資料代：300円
主催：こだいらソーラー
後援：小平市

【問い合わせ】
小平・生活者ネットワーク
〒187-0045 小平市学園西町2-15-2
CB一橋学園
TEL・FAX 042-342-4494
メール kodaira@seikatsusha.net

シリーズ 議会改革

「ほう、基本条例の成立前の今も議会では少しずつ改革に着手しています。まずは、現在協議中の議会運営委員会公開について、市民の要望を受けとめ早期実現をめざします。」

昨年12月22日に開かれた「第4回市民と議会の意見交換会」では、「議会基本条例素案」についての説明が行われた後、参加者から多くの質問や意見が出されました。条例素案は11章34条から成り、市民に開かれた議会を実現するために、様々な角度からの内容を条文に盛り込んだものになっています。

素案では、重要な政策に対して本会議や委員会、議員間の自由討議で議論を尽くし合意形成をはかることをめざしています。市長の出した議案の賛否を決めるだけでなく、議会としての政策提案を行うことが重要だからです。また、議会全体として市民と直接対話ができる報告会を年2回以上行うことなども明記されています。今後、議会全体で調整し正式に提案される予定です。い

議会基本条例素案ができました！

～条例制定への道すじの第一歩

「ヒアリング提案」のヒアリングに参加

豊崎千津美

12月に教育委員会学務課、庶務課の担当の方へ小学校のトイレなどについてヒアリングをしました。

現代の家庭では洋式トイレが主流になっていますが、学校のトイレは和式で暗くて臭いというイメージがあります。実際に低学年の子どもたちから、朝からトイレに行くことをがまんしてしまおうという声も多く聞かれます。庶務課の方に伺ったところ、おいがびどくて勉強にも支障がある学校については、現在までに5校のトイレの改修をしたとのことでした。

学校については子どもたちの安全を最優先に考え、建物の耐震補強は行っているが、国の補助を受け災害時の避難所にもなる体育館について骨組み以外の補強もすすめる予定だそうです。保護者へのアンケートでは、エアコンの設置に対する要望が一番多く、トイレの整備は2番目だったので、エアコンの設置を優先したそうです。震災で1年遅れましたが、エアコン設置には17億円以上の事業費がかかるため、トイレの整備までは予算立てできないそうです。

ヒアリングを終えて、市民は要望だけではなく話し合いの場で状況を市に知ってもらう事が大切なのではないかと思いました。ひとこと提案で声をだすことはその一歩だと実感しました。

常設型(実施必至型)住民投票条例に関する陳情書を都議会へ

昨年6月、32万を超える都民の意志をもって請求した「東京電力管内の原子力発電所稼働に関する都民投票条例」の都議会の否決は、都民が自らの意志を表す機会を奪ってしまったと言えます。住民投票は、市民の意志を示すものであり、民主主義の本旨「参加と自治」にとって必要な制度です。昨年末に市民グループ「住民投票を成功させる会」が立ち上がり、生活者ネットワークも署名活動に参加しています。第1回定例都議会(2月)に提出予定です。ご協力ください。



■ 編集後記 ニュース作成した今日は、小平でも大雪となった。自然の力には人間は及ばないことを再確認。